

甲南化工 株式会社

主力は食品添加物。化成品の 受託研究・製造にも強み

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



水溶性アズレン



ベンチスケールフロー反応装置
HCR-1000
東京理化学工業株式会社製

水溶性アズレンおよびベンチスケールフロー反応装置 (EYELA製)

主な事業内容

食品添加物・医薬品原料の製造、
化成品の受託研究・受託製造

主な取引先(納入先)

化学・食品・医薬系の商社・工場・
研究機関、大学研究機関など

主な製品

食品添加物、医薬品原料、
受託研究・受託製造化成品

業務内容 「水溶性アズレン」を製造

甲南化工は、主に3つの事業から成る化学メーカー。食品添加物を製造する食品部門と、化成品の受託研究・製造を手がける合成部門、うがい薬などに使われる「水溶性アズレン」を製造する医薬品製造部門である。このうち食品部門が売上の約半数を占め、同部門の主力製品は食品添加物である。そのほかハーブなどの天然物からエキスを有効成分を抽出・濃縮するなどの受託加工も行っている。

創業は昭和23年。当時、専売品だった樟脳副産物を香料などに有効活用する事業からスタート。その後、合成香料の開発・製造、さらには医薬品品の開発・製造へと事業領域を拡大した。

強み キロラボスケールに 特化した受託合成

水溶性アズレンは、植物精油から合成した物質・グアイアズレンの誘導体である。グアイアズレンは抗炎症作用があり、医薬品や医薬部外品などに利用されているが、不溶性という不便な点があった。同社は独自の技術開発により、これを水溶性に変えた。現在、医薬品のうがい薬や医薬部外品・化粧品向けの水溶性アズレンでは、同社が長期間にわたり

安定供給を行っている。

医薬品メーカーや食品メーカーなどからの課題を解決する化成品の「受託研究・製造」も、同社ならではの事業である。長年にわたる化成品の製造実績に加え、優れた研究者が多数在籍しているのが強み。社員の約7割は理料系大学の卒業生で、博士号取得者も5名いる。「フラスコベースのミミグラムから数キログラム単位までの合成も受託できるのが当社の特長。どんな化成品でも合成できる」と亀澤誠社長は自信を示す。

研究開発 大学や産業技術総合 研究所と連携も

大学や国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)とも連携し、研究開発のスピードアップにも努めている同社。その一環として、環境負荷の低減にも取り組んでおり、極細管に原料となる化学物質を連続的に供給・混合・反応させるフロー合成法によるグアイアズレン合成に成功。同製法は廃棄物の排出も少なく、環境に優しいより安全な方法で合成することができる。その成果が認められ、令和5年度「はばたく中小企業・小規模事業者300社GX部門」を受賞。同社の名を広く知らしめる機会となった。今後は、平成23年に開設した研究施設「沖縄ラボ」を活用し、バイオ関連の研究開発にも力を注いでいく。

社長あいさつ



代表取締役社長
亀澤 誠さん

当社は人材育成を柱に、時代の変化に対応しながらユニークな事業の展開を進めてきました。その結果、令和5年度の「はばたく中小企業・小規模事業者300社 GX部門」の受賞に至りました。これからも技術、伝統、経験を生かして新たな領域を切り拓いていきます。

主な保有設備

- カラム型フローリアクター
LCR-1300ほか
東京理化学工業製 1台
- 反応釜(200-1000L)
増谷機工製ほか 7台
- 反応装置(10mL-100L)
AGCテクノグラス製ほか 50台
- 遠心分離機(24インチ)
チカラエンジニアリング製ほか 5台
- 大型カラム管(20-50cm)
自社製 7台

全国
05

住 所 / 〒569-0066
高槻市中川町
5-21

T E L / 072-674-0612
F A X / 072-673-0040

創 業 / 昭和23年10月
設 立 / 昭和23年10月
資本金 / 2,700万円
従業員 / 65名



分析機器 (HPLCおよびGC)



卓上型培養装置 (丸菱バイオエンジニア製)



<https://www.konankako.co.jp/>